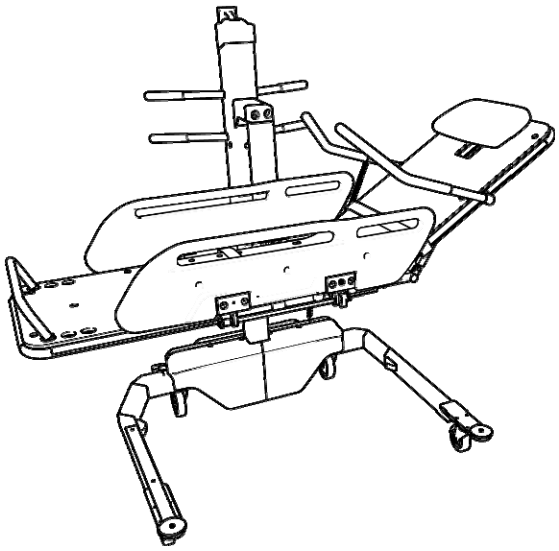
SAKAImed

エレベール CEL-730・ルピナス LUP-950 用

片持型ストレッチャー

WT-730

取 扱 説 明 書



ご使用になる前に …… 2
- **安全上のご注意** …… 2
- **各部の名称** …… 9
- **始業点検について** …… 11
- **組み合わせ** …… 13

操作方法 …… 14
- **走行ハンドル** …… 14
- **キャスター** …… 15
- **高さの調節** …… 16
- **バッテリー** …… 17
- **安全ベルト** …… 20
- **サイドフェンス** …… 21
- **手すり** …… 22
- **リクライニング** …… 23
- **スライド式枕** …… 24
- **足当て** …… 25
- **マットの脱着** …… 26
- **担架への移乗作業** …… 27
- **洗髪・洗身作業** …… 27

日常のお手入れ …… 28
- **清掃（担架、フレーム）** …… 28
- **清掃（マット、ベルト）** …… 29
- **メンテナンス** …… 30

このようなときは …… 31

機器について …… 33
- **保守・点検について** …… 33
- **保障とアフターサービス** …… 33
- **仕様** …… 35

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-192②Q3

用 途

本製品は、当社浴槽『エレベール』(CEL-730)及び『ルピナス』(LUP-950)専用の担架・ストレッチャーです。
浴槽と組み合わせて使用します。

特 長

●静かな昇降動作

駆動源に電動アクチュエーターを採用し、昇降操作の騒音が小さくなりました。

●サイドフェンスと手すりを装備し、安全配慮設計

サイドフェンスと手すりを装備し、サイドフェンスは二重ロック付きで入浴者の方が安心して入浴ができます。

●低重心の安定設計

駆動部が下方のため、介助者の視野が広くなり、低重心で安定感が高まりました。

●後輪キャスターはトータルロック式

キャスターストッパーを踏むことで、後輪２輪同時にロックすることができます。

●カートリッジ式のバッテリーを採用

本体からバッテリーを取り外して簡単に充電できます。またバッテリーカバーにはバッテリーの残量がわかるインジケーターを装備。充電時期が容易に把握できます。

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負うことに至る」**ことを示しています。
⚠ 警告	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**ことを示しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、**「傷害または物的損害の発生が想定される」**ことを示しています。

絵表示の意味

禁止	行為を禁止することを示した表示です。
強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

その他の表示

お願い	製品を使用する上で留意していただくことを示した表示です。

昇降操作・移動

⚠警告

上昇・下降操作は、周囲の安全を確認してから行う

上昇・下降により挟み込み等の事故につながる恐れがあります。浴槽や移乗用ストレッチャー等から離れたところで行ってください。

入浴中に担架を昇降させる際は、入浴者の手足の挟み込みに注意

手足が外側に出ていると、担架と浴槽の間に挟みこまれる恐れがあります。

担架の下面に障害物を挟んだまま、担架の下降操作をおこなわないこと

障害物を挟んだまま担架を下降し続けた場合、万一障害物から担架が外れた場合、担架が急激に落下し、けがをする恐れがあります。

以下のときはキャスターを必ずロック

- **担架上で介助作業（移乗、洗身、洗髪等）をするとき**
- **ストレッチャーを移動した後**
- **担架を昇降させるとき**
- **浴槽にストレッチャーをセットした後～入浴中**

ロックをしていないと、ストレッチャーが動き出し、事故の原因になります。

ストレッチャーを移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に注意

キャスターが隙間に挟まると、ストレッチャーが傾いたり、転倒する恐れがあります。

⚠注意

ストレッチャーを移動するときは、ゆっくり移動する

入浴者に恐怖感やショックを与えないようにし、またけが等を発生させないよう入浴者の状態と周囲の状況に十分注意して移動してください。

ストレッチャーを移動するときは、段差や傾斜に注意

ストレッチャーの低位置にある機構部が、段差や傾斜部に接触しないよう注意してください。

キャスターストッパーには無理な荷重をかけない

ペダルのフレームが変形したり破損する恐れがあります。

ストレッチャーのセット操作

⚠注意

ストレッチャーの案内円盤がストレッチャーガイドの範囲内にくるように移動してから、ストレッチャーを浴槽に押し付けること

ガイドの範囲以外で押し付けると、担架が浴槽に当たり、担架や浴槽が破損する恐れがあります。

ストレッチャーを浴槽へセットさせるときは、担架を上限まで上昇させること

担架を上限まで上昇させていない状態で、担架を浴槽内へ移動させると、浴槽に担架が当たり、担架や浴槽が破損する恐れがあります。

ストレッチャーを浴槽へセットさせるときは、ストレッチャーの向きに注意すること

反対向き（浴槽のオーバーフロー側へ担架の足当て側がくる状態）では、入浴できません。

ストレッチャーを浴槽にセットする際は、平行に押し付け、ストレッチャーガイドに位置合わせブロックが左右共しっかり当っていることを確認すること

ストレッチャーを最後まで押し込まない状態で担架を下降させると、担架が浴槽に接触し危険です。

バッテリーの交換作業

⚠注意

電極を濡らさないこと

感電等を避けるため、濡れた手でバッテリーの脱着作業をしないでください。

電極に触らないこと

感電の恐れがあります。

バッテリー交換後、バッテリーカバーを取り付けること

バッテリーに水がかかりますと感電の恐れがありますので、バッテリー交換後は必ずカバーを付けてください。

カバーの上に多量の水がある場合は、軽く拭き取ってから外す

バッテリーに水がかかりますと感電の恐れがありますので、バッテリー交換後は必ずカバーを付けてください。

バッテリーの充電

⚠警告

付属の専用充電器以外は使用しないこと

バッテリーの充電性能や寿命に悪影響を与える恐れがあります。

⚠警告

一日の入浴作業終了後は、満充電（100%）まで充電する

充電が不十分だとバッテリーの寿命が短くなるので、黄の表示灯(CHARGE)が消灯するまで行なってください。

バッテリーの残り容量を必ず確認

容量表示が 25%(コンセントマーク表示)になったら充電してください。
表示が 25%より少なくなると充電ができなくなります。

乾燥した場所で充電及び保管

漏電等を避けるため、浴室や湿気の多い場所で充電器を使用しないでください。使用後は、充電器の電源プラグをコンセントから抜いて保管してください。

長期間使用しない場合は、使用後に満充電にし、その後も 1 か月に一度は充電する

バッテリーは自然放電するので使用しない場合でも充電が必要です。

長期間使用しない場合は、バッテリーを機器から外しておく

放電量を抑えることができます。

充電中は充電器の表面温度に注意

充電中は表面が 50℃位まで上がりますので、やけどに注意してください。

電源プラグを抜くときはプラグの根元を持って抜く

充電器のコードを引っ張って抜くと断線し、感電やショートを起こし発火する恐れがあります。

バッテリーを脱着するときや持ち運ぶときは、落とさないように注意

足の上に落とすことにより、けがをする恐れがあります。

⚠注意

リモコンスイッチの扱いに注意

・床に落としたり足で踏んだりすると故障の原因になります。
・コードを強く引っ張らないでください。断線の原因になります。

ベルト・マット・枕

⚠警告

担架に入浴者を乗せたら、2本の安全ベルトを装着する

- 入浴者が動いて担架から落下したり、足がはみ出して挟み込まれる恐れがあります。
- 浮力により腰の位置がずれて、水没する恐れがあります。

安全ベルトは、入浴者の体格に合せて長さを調節する

- 身体がずれて担架から落下する恐れがあります。
- ベルトやバックルに皮膚が擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

体位変換や移乗の際に外した場合、入浴者が落下する恐れがあります。とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。

体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを装着してください。

⚠注意

安全ベルトの損傷に注意

ほころび始めたり、切れかかってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。

担架マットの損傷に注意

- 古くなって破れたり、マット止めピンがマットから浮き出してきたら、新しいものと交換してください。マット止めピンの浮き出した部分で、入浴者がけがをする恐れがあります。
- マット止めピンの取り外しの際は、スナップボタン外しを使用し、１つずつゆっくりと行ってください。
- 高温により変形する恐れがありますので、当社推奨の清掃方法（P.29）以外の方法で清掃を行なわないでください。

担架マットは、日陰干しにて乾燥

直射日光で乾燥させると劣化します。

入浴時は枕を装着し、固定用ノブを締めること

枕の固定用ノブの鎖が機器に絡む恐れがあります。

入浴作業前に全てのマット止めピンが確実に取り付けられていることを確認すること

完全に取り付いていないと、マット止めピンがマットから浮き出し、入浴者がけがをする恐れがあります。また、入浴中にマットが外れる恐れがあります。

背もたれのリクライニング

⚠警告

背もたれを倒すときは、ゆっくりと操作し、最後まで手を離さない

勢いよく倒したり、途中で手を離すと入浴者が頭を強打し危険です。また手足を挟むなどけがをする恐れがあります。機器を破損する恐れもあります。

リクライニングするときは、入浴者の状態に注意

サイドフェンスや担架フレームとの間に、入浴者の手などが挟まれ、けがをする恐れがあります。

背もたれがロックされていることを確認

手動で背もたれを起こしたときは、しっかりとロックされていることを確認してください。

サイドフェンス、手すり、足あて

⚠警告

入浴者を担架に移乗させたら、サイドフェンスを起こしてロック確認

サイドフェンスのロックが不十分だと、入浴者が落下する恐れがあります。

⚠注意

サイドフェンスを操作するときは入浴者の手足の状態に注意

サイドフェンスと担架の隙間に入浴者の手足の指先が入っている状態で、サイドフェンスを操作すると、指が挟まり、けがをする恐れがあります。

入浴者を担架に乗せたら、手すりを握らせ肘を内側に入れる

手すりを握っていないと、上肢が担架の外側に出て、けがをする恐れがあります。
握れない場合は、上肢を保持するベルトなどを使用し、上肢が担架の外側に出ないようにしてください。

手すりを下ろす前に、サイドフェンス上に手や腕がないことを確認

サイドフェンス上に入浴者の手や腕が載っている状態で、手すりを勢いよく下ろすと、入浴者の身体が挟まり、けがをする恐れがあります。

足あては、取り付け穴にしっかり奥まで差し込む

足あての差込が不十分の場合、外れる恐れがあります。

担架上の作業

⚠警告

担架上で入浴者の姿勢を変えるときは、手足の指の状態に注意

手足が拘縮や麻痺で変形している人は、担架とサイドフェンスの間に指が入ってしまう可能性があります。隙間に入ったまま姿勢を変えると、けがをする恐れがあります。

担架上での移乗・洗髪・洗身作業時は、入浴者の落下に注意

- 担架上での体位変換作業は、作業の反対側のサイドフェンスを起こしたまま行ってください。
- 安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから離れないでください。

⚠注意

担架に着座するときは、担架の中央部分（脚部側）に着座する

背もたれ部分への着座は、傾斜があり不安定で、担架にも無理な力が加わります、また、足当て付近の着座も無理な力が加わりますので行わないでください。

その他

⚠注意

濡れた状態で搬送用ストレッチャーとして使用しない

水滴を廊下に落とす等して、事故を引き起こす可能性があります。

駆動部カバー、フレーム等の機構部分には乗らない

転倒の恐れ、または機器の破損の原因となります。

バッテリーカバー、駆動部カバーに水をかけない

カバー内に水が侵入すると電気系統の故障の原因になります。

次亜塩素酸ナトリウムをストレッチャーに直接かけない

脱色、変色、破損の原因になる恐れがあります。

バッテリー残量インジケーターは、使用環境により窓部が曇る恐れがあります。

入浴介助前に満充電のバッテリーを使用しください。また始業点検時にバッテリー残量を確認してください。

リモコンスイッチの扱いに注意

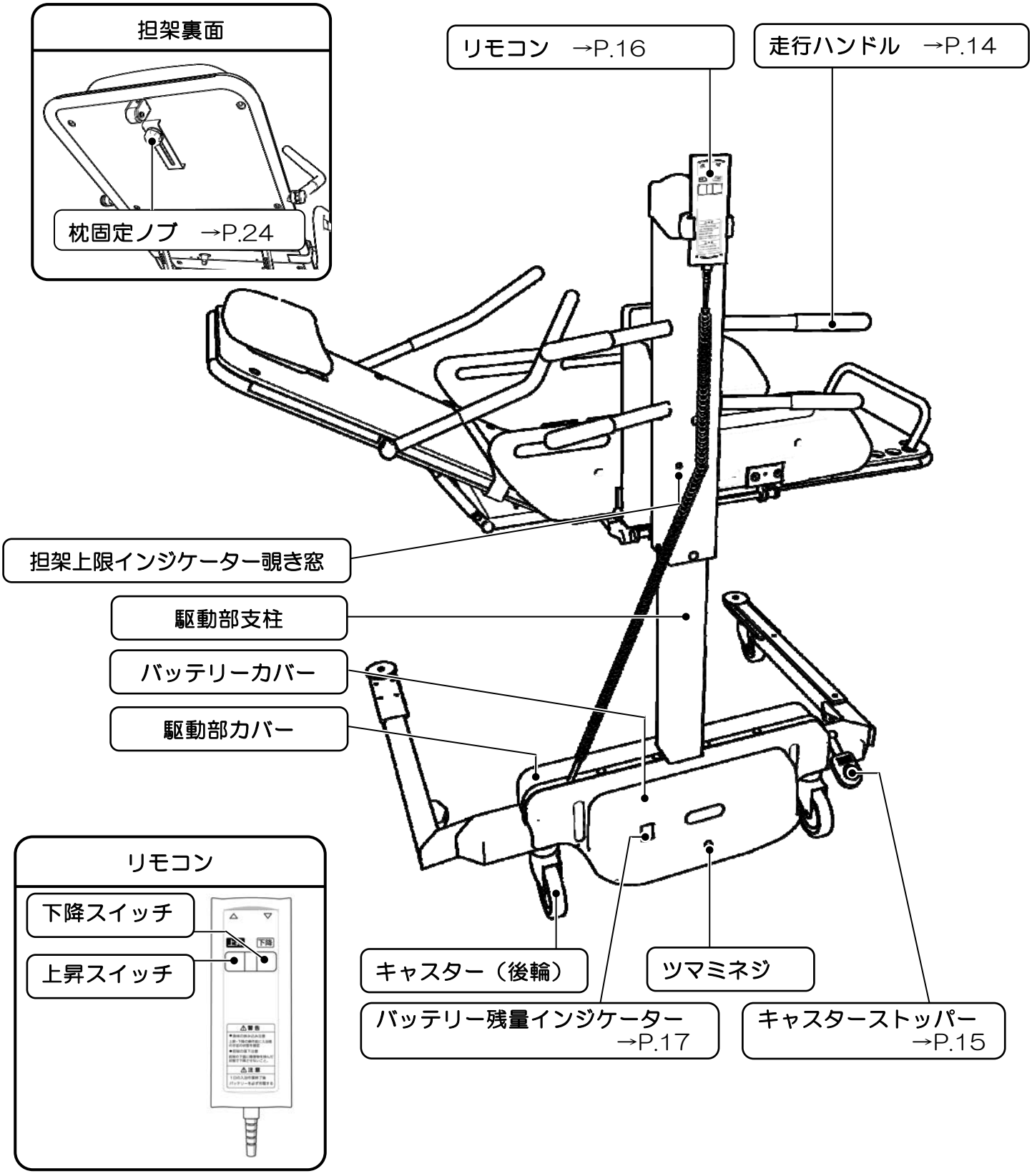
- リモコンを浴槽やストレッチャーにぶつけたりすると故障の原因になります。
- コードを強く引っ張らないでください。断線の原因になります。

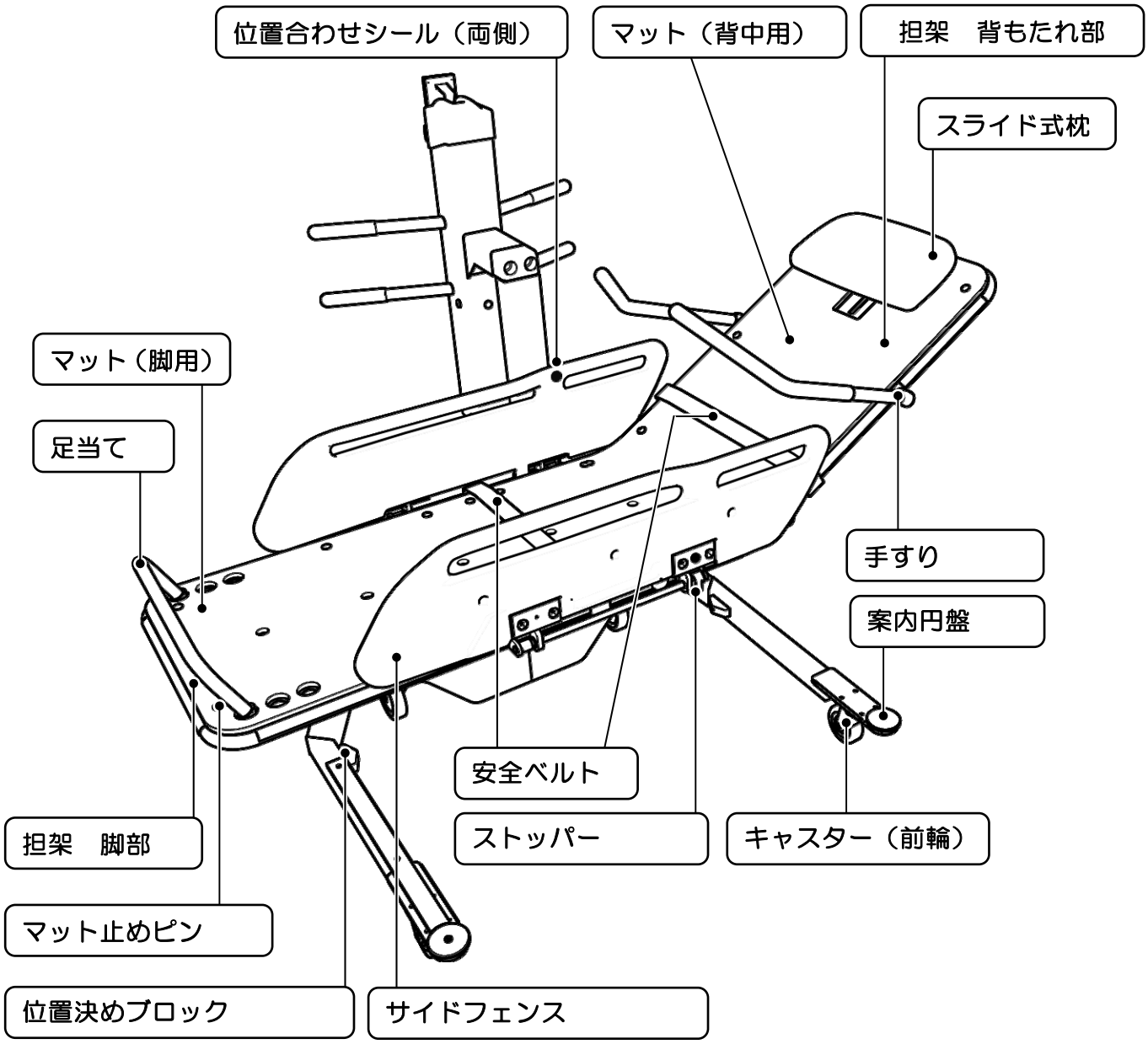
当社指定のシリコングリスを使用する

他のグリスを使用すると、故障の原因になります

ご使用になる前に

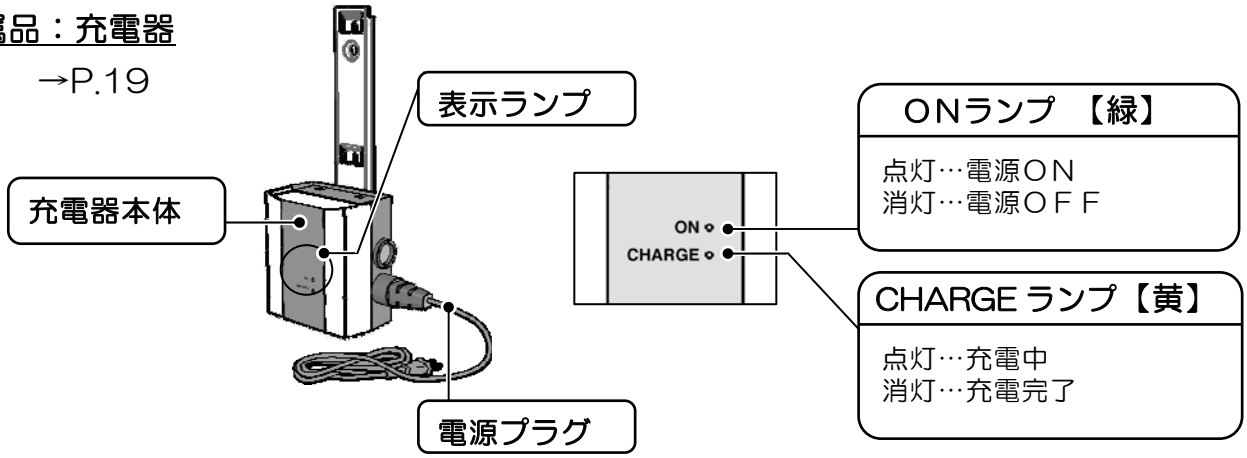
各部の名称




位置合わせシール（両側）
マット（背中用）
担架　背もたれ部
スライド式枕
マット（脚用）
足当て
手すり
案内円盤
安全ベルト
ストッパー
キャスター（前輪）
担架　脚部
マット止めピン
位置決めブロック
サイドフェンス

付属品：充電器

→P.19


表示ランプ
充電器本体
電源プラグ
ON
CHARGE
ONランプ　【緑】
点灯…電源ＯＮ
消灯…電源ＯＦＦ
CHARGE ランプ【黄】
点灯…充電中
消灯…充電完了

ご使用になる前に

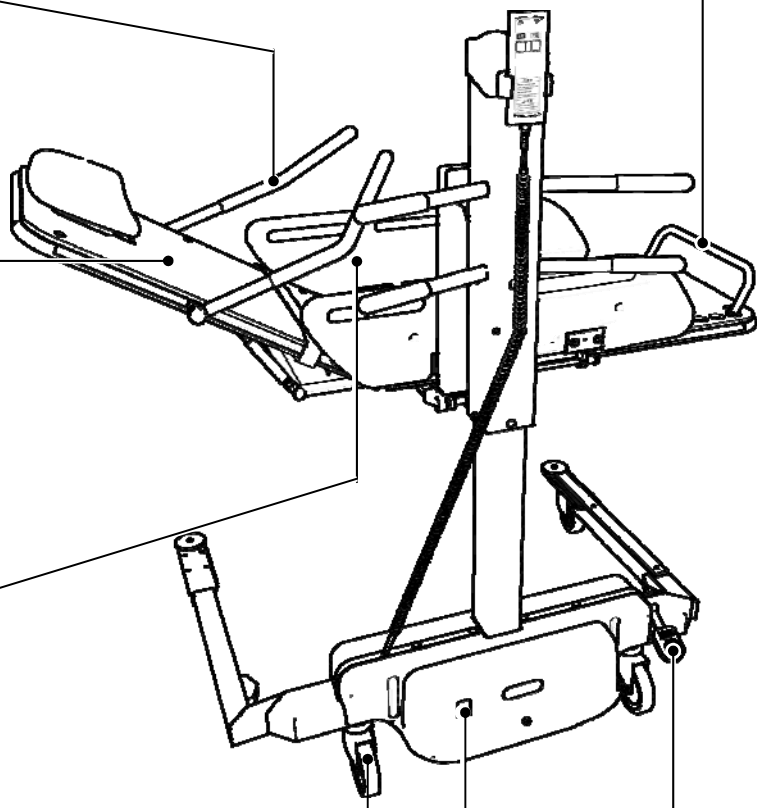
始業点検について

ご使用前に下記の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。

①周囲に障害物はありませんか？

②手すりは操作できますか？

③足受けのガタつきはありませんか？



④マットは破れていませんか？

⑤マット止めピンは確実に装着されていますか

⑥安全ベルトにほつれはありませんか？
バックルの破損はありませんか？

⑦背もたれは操作できますか？

⑧サイドフェンスを立てると自動でロック
されますか？

⑨キャスターの緩み、ガタつき、抜け出しは
ありませんか？

⑩キャスターの車輪の磨耗はありませんか？

⑪バッテリー残量インジケーターの窓部に曇り
汚れはありませんか

⑫バッテリーの残量は、十分ですか。

⑬キャスターのロックは確実にできますか？

⑭昇降操作は正常にできますか？

始業点検チェックリスト：片持型ストレッチャー（WT-730）　点検日　　年　　月　　日

項目	点検内容	点検方法	チェック	備考
①	障害物の有無	目視	□ OK・□ NG	
②	手すりの操作	手すりを上げ下ろし、スムーズに動くことを確認	□ OK・□ NG	(P.22 参照)
③	足受けのガタつき	目視	□ OK・□ NG	
④	マットの破れ	目視	□ OK・□ NG	
⑤	マット止めピン	目視（16 か所）	□ OK・□ NG	
⑥	安全ベルトのほつれ バックルの破損	目視	□ OK・□ NG	
⑦	背もたれの操作	1. 背もたれを持ち上げてロックさせ、上から少し力を加えてロックが外れないか確認 2. 背もたれを最後まで持ち上げてロックを解除し、背もたれが下ろせることを確認	□ OK・□ NG	(P.23 参照)
⑧	サイドフェンスの操作	1. ストッパーを解除し、サイドフェンスを倒す 2. サイドフェンスを起こし、自動でロックされることを確認	□ OK・□ NG	(P.21 参照)
⑨	キャスターの緩み、 ガタつき、抜け出し	目視及び、触って確認	□ OK・□ NG	
⑩	キャスターの車輪の摩耗	目視	□ OK・□ NG	
⑪	インジケーター窓部	目視	□ OK・□ NG	
⑫	バッテリー容量表示の確認	目視 **容量表示が 25%（コンセントマーク表示）になったら、必ず充電してください。**	□ OK・□ NG	(P.17 参照)
⑬	キャスターのロック作動	キャスターストッパーをロック方向に踏んでキャスター（後輪）の回転と首振りのロックを確認	□ OK・□ NG	(P.15 参照)
⑭	昇降動作	リモコンスイッチを押し、昇降時の動作及び異音の有無を確認	□ OK・□ NG	(P.16 参照)

またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。
尚、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

ご使用になる前に

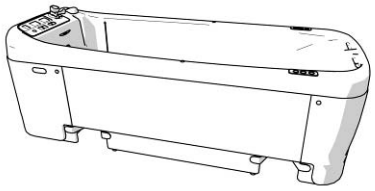
組み合わせ

本製品は、当社の入浴装置（浴槽）『エレベール』（CEL-730）、『ルピナス』（LUP-950）専用のストレッチャーです。

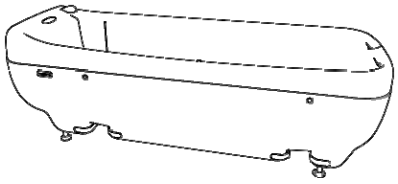
必ず専用の浴槽と組み合わせてご使用ください。

周辺装置（別売り）

コンパクト浴槽　エレベール　・・・CEL-730
（浴槽昇降タイプ）



有料老人ホーム・サ高住向け浴槽　ルピナス・・・LUP-950
（浴槽固定タイプ）



操作方法については、各々の取扱説明書をご覧ください。

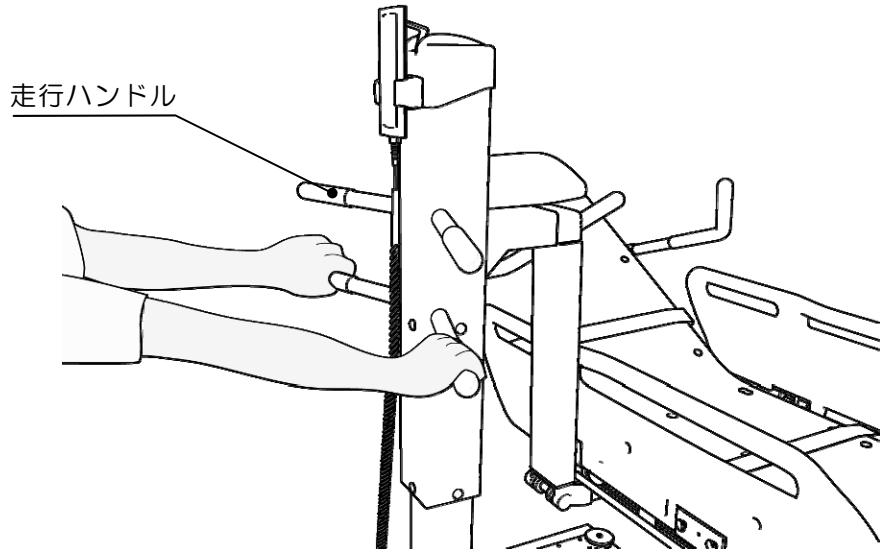
操作方法

走行ハンドル

ストレッチャーの移動

走行ハンドルを持って移動します。

・走行ハンドルは、2 か所の高さにあります。使いやすい高さの走行ハンドルをご使用ください。



⚠警告　浴室の排水溝蓋の隙間等に注意

⚠注意　電動昇降式ストレッチャーを移動するときは、段差や傾斜に注意
ストレッチャーを移動するときは、ゆっくりと移動する

操作方法

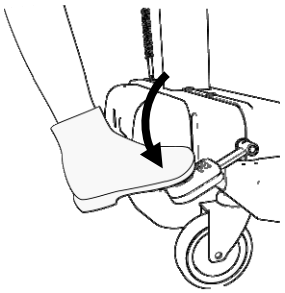
キャスター

ロックをさせると、後輪の左右のキャスターの首振り、回転をロックすることができます。

ロック

キャスターストッパーを踏みます。

・後輪（φ125）２輪のロックが同時にかかります。
（トータルロック式）



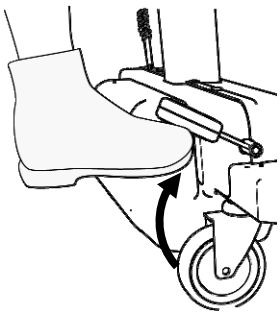
⚠警告　以下のときは、キャスターを必ずロック
- **担架上で介助作業（移乗、洗身、洗髪等）をするとき**
- **ストレッチャーを移動した後**
- **ストレッチャーを昇降させるとき**
- **浴槽にストレッチャーをセットした後～入浴中**

⚠注意　キャスターストッパーには無理な荷重をかけない

解除

キャスターストッパーを足で軽く持ち上げます。

・後輪２輪のロックが同時に解除されます。



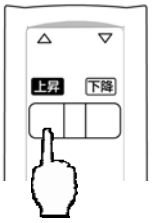
操作方法

高さの調節

上昇

1. リモコンの上昇スイッチを押すと担架が上昇します。

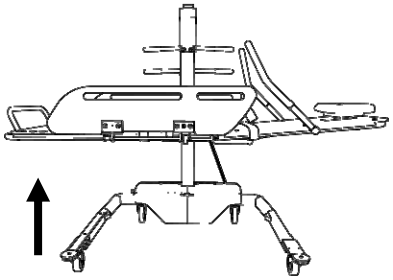
・上昇スイッチから指を離すと停止します。



> ⚠警告　上昇・下降操作は、周囲の安全を確認してから行う
> 入浴中に上昇・下降操作を行う際は入浴者の手足の挟み込みに注意

2. 上昇スイッチを押し続けると、担架が上限まで上昇します。

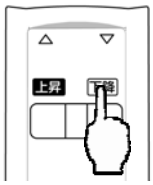
・上限位置は、ストレッチャーを浴槽へセットできる高さになります。



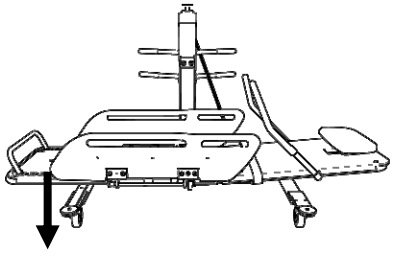
下降

1. リモコンの下降スイッチを押すと担架が下降します。

・下降スイッチから指を離すと停止します。



2. 下降スイッチを押し続けると、担架面の高さが地面から約 295㎜ の高さで自動停止します。



> ⚠警告　担架の下面に障害物を挟んだまま、担架の下降操作を行わないこと

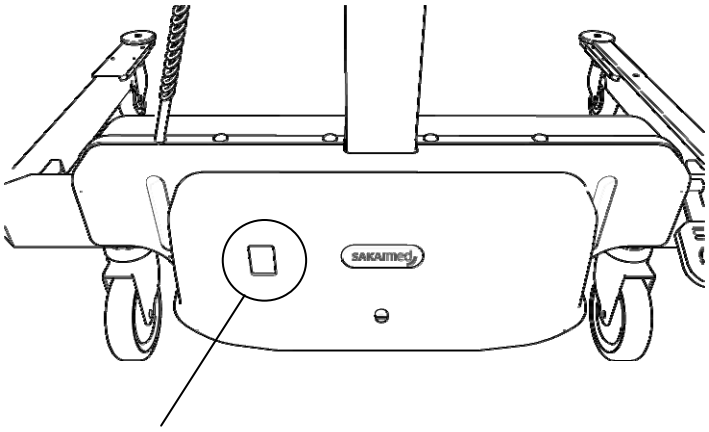
操作方法

バッテリー

要領確認

バッテリー残量インジケーターで、バッテリーの残量を確認することができます。

1 日の入浴作業終了後、または容量表示が 25%（コンセントマーク表示）になったら、必ず充電してください。

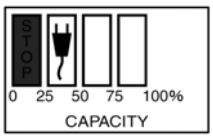


満充電　　要充電

⚠ 注意　バッテリーの残り容量を必ず確認

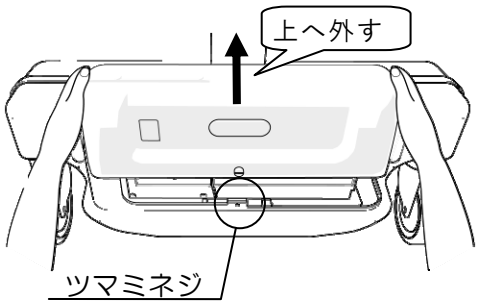
容量表示が25%(コンセントマーク表示)になったら必ず充電してください。

表示が25%より少なくなると充電ができなくなります。



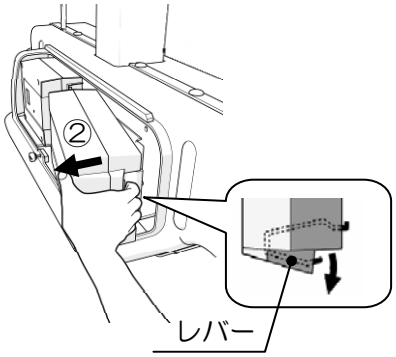
取り出し

1. ツマミネジを緩め、バッテリーカバーを上方向に外します。



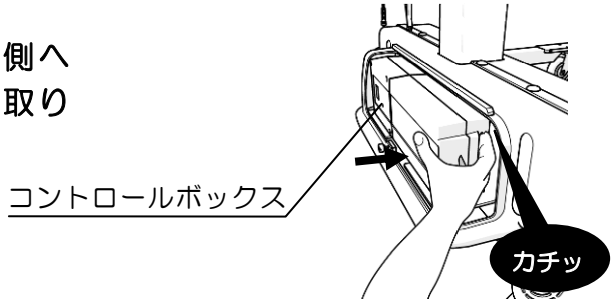
⚠注意　カバーの上に多量の水がある場合は、軽く拭き取ってから外す

2. バッテリーのレバーを握り、バッテリーを取り出します。



取り付け

1. バッテリーをコントロールボックス側へ差し込み、→の方向に押し付けて、取り付けます。

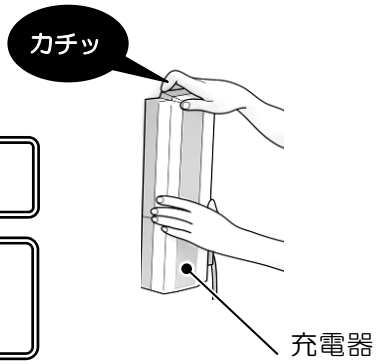


2. バッテリーカバーを上からかぶせ、ツマミネジを締めます。

⚠注意　・電極をぬらさないこと
・電極にさわらないこと
・バッテリー交換後は、バッテリーカバーを取り付けること

充電

1. ストレッチャーから取り出したバッテリーを専用充電器に取り付けます。

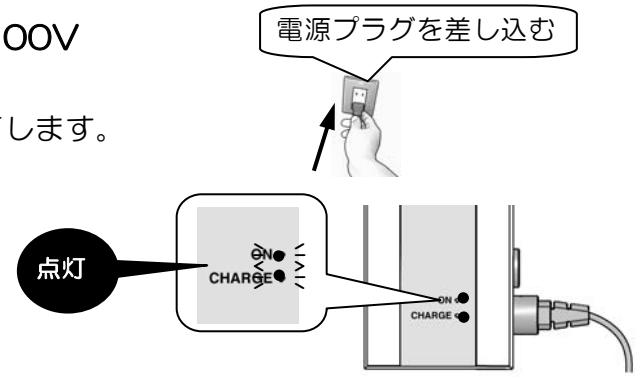


> ⚠警告　付属の専用充電器以外は使用しない

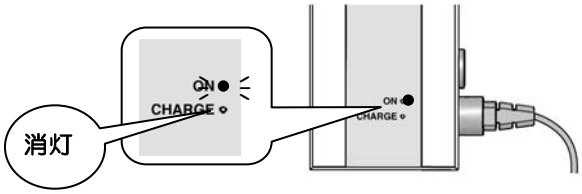
> ⚠注意　バッテリーを脱着するときや持ち運ぶときは落とさないように注意

2. 充電器の電源プラグをアース付 AC100V コンセントに差し込みます。

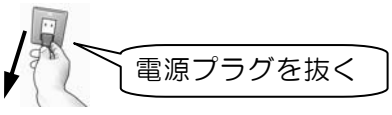
・ON の緑 LED と CHARGE の黄 LED が点灯します。



・充電が完了すると、CHARGE の黄 LED が消灯します。



3. 充電完了後は充電器の電源プラグを AC100V コンセントから抜きます。



> ⚠注意　・一日の入浴作業終了後は、満充電（100%）まで充電する
> ・電源プラグを抜くときは、プラグの根元を持って抜く

・容量表示が 25%（コンセントマーク表示）から満充電までは、約 4 時間かかります。

・1 回の充電で約 45 回の昇降が可能です。

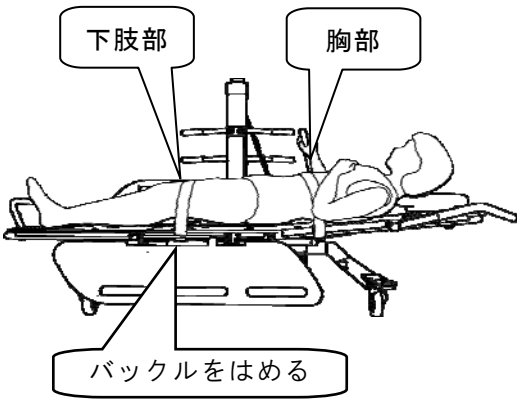
操作方法

安全ベルト

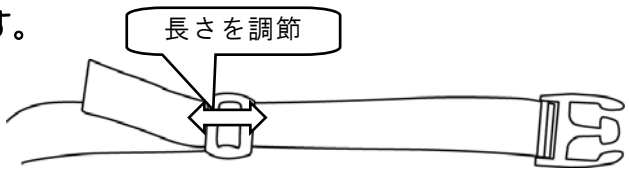
装着

1. 担架へ入浴者を移乗させたら、安全ベルトのバックルをはめます。

・胸部（1 か所）と下肢部（1 か所）のベルトを装着してください。



2. 入浴者に合わせて長さを調節します。

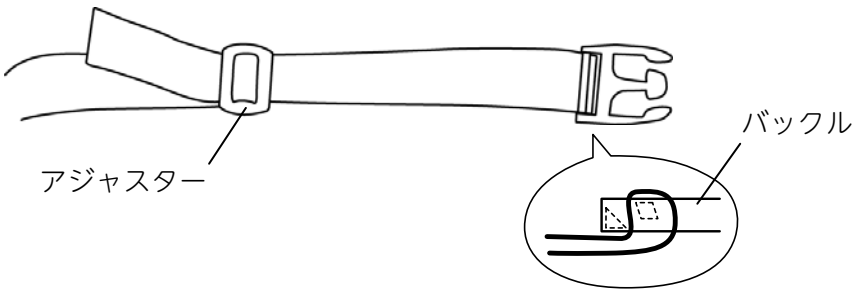


⚠警告　・担架に入浴者を乗せたら、２本の安全ベルトを装着する
・安全ベルトは、入浴者の体格に合せて長さを調節する
・安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

⚠注意　・安全ベルトの損傷に注意

取り付け

ベルト（長）の取り付けは、片側をアジャスターに通してから、
バックルに図のように通し、アジャスターで留めます。



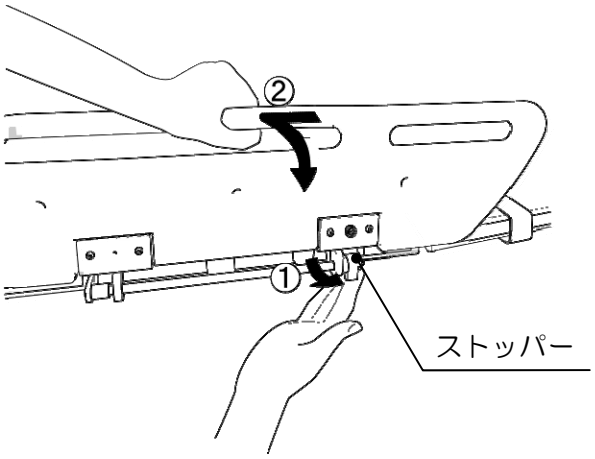
操作方法

サイドフェンス

倒す

1. ストッパー下側を手前に引きます。

2. ストッパーを引いたまま、サイドフェンスを入浴者の足側へスライドさせ、手前に倒します。



起こす

起こすと自動的にロックされます。

⚠警告　担架に入浴者を乗せたら、サイドフェンスを起こして、ロックを確認

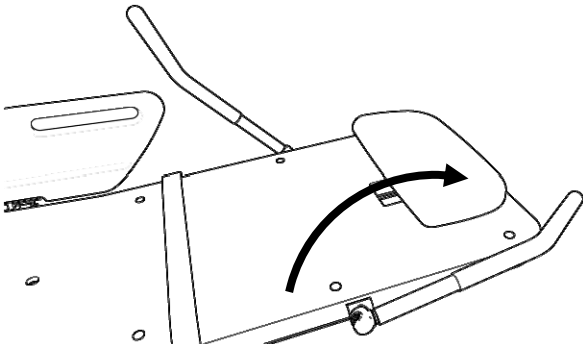
⚠注意　・サイドフェンスを操作するときは、入浴者の手足の状態に注意
・サイドフェンスをトランスファーボードとして使用しない

操作方法

手すり

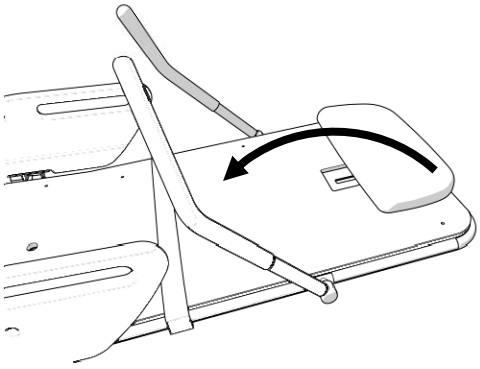
跳ね上げ

グリップを持ち、枕側に跳ね上げます。



下ろす

グリップを持ち、手すりを下ろします。



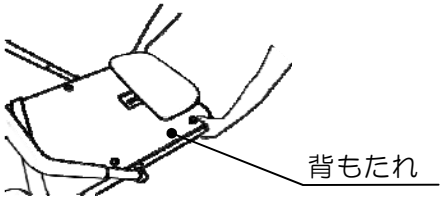
⚠注意　手すりを下ろす前に、サイドフェンス上に手や腕がないことを確認

操作方法

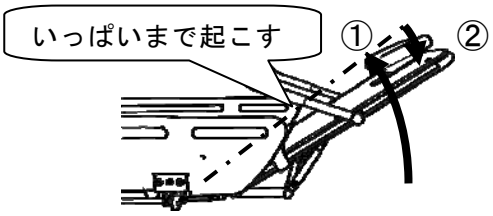
リクライニング

起こす

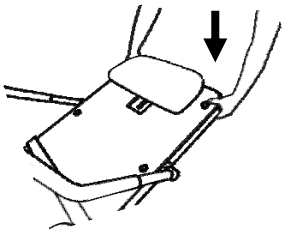
1. 頭部側の側面を持って、背もたれを起こします。



2. いっぱいに起こした後に少し戻すとロックされます。



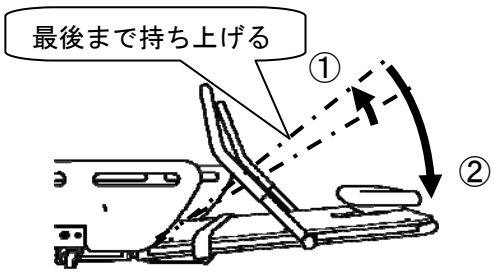
3. 背もたれに上から少し重さをかけて、確実にロックされているか確認します。



⚠警告　・背もたれがロックされていることを確認
・入浴者の状態に注意

倒す

頭部側の側面を持って、最後まで持ち上げてロックを解除し、そのままゆっくり下ろします。



⚠警告　背もたれを倒すときは、ゆっくりと操作し最後まで手を離さない

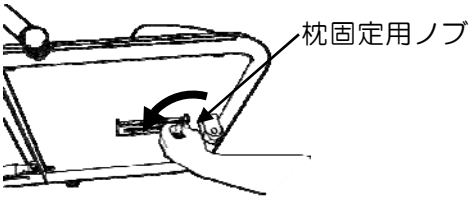
・背もたれの角度は起こした状態で約３０度、倒した状態で５度です。
・背もたれを倒して入浴すると、浴槽の昇降またはストレッチャーの下降に連動して自動的に背もたれが起きます。

操作方法

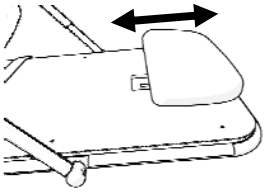
スライド式枕

位置調節

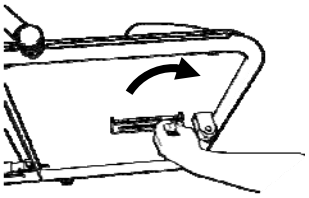
1. 背もたれ裏側の枕の固定用ノブを緩めます。



2. 入浴者の頭の位置に合せて、枕の位置を調節します。

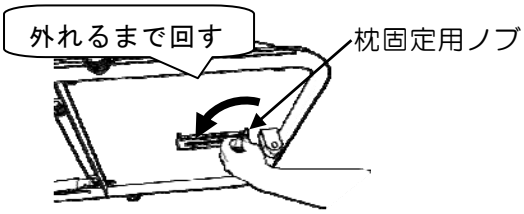


3. 位置を決めたら固定用ノブを締め、枕を固定します。

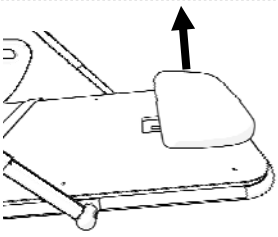


脱着

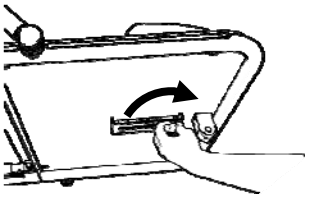
1. 枕の固定用ノブは、鎖で担架に固定されていますので、ノブが外れるまで回してください。



2. 枕を取り外します。



3. 洗浄後は、枕を背もたれに載せ、固定用ノブを締め固定します。



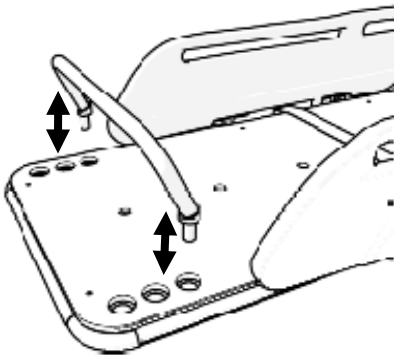
⚠注意　入浴時は枕を装着し、固定用ノブを締めること

操作方法

足当て

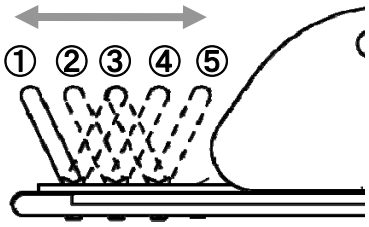
位置調節

1. 足当ては、引き抜いて取り外します。



2. 入浴者の足先の位置に合わせて、差し込みます。

足当ては、3か所穴位置と足当ての向きを
変えることで5段階に調節できます。



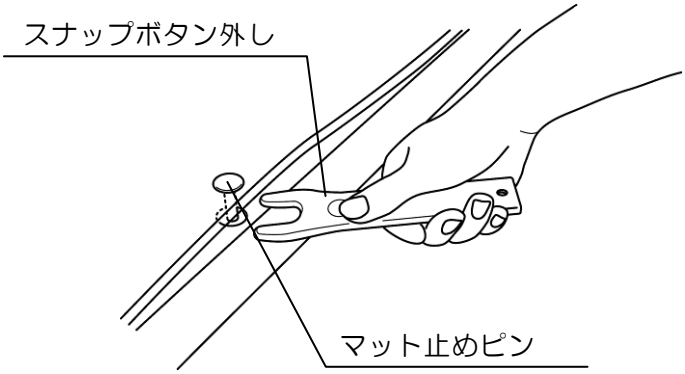
⚠注意　足当ては、取り付け穴にしっかり奥まで差し込む

操作方法

マットの脱着

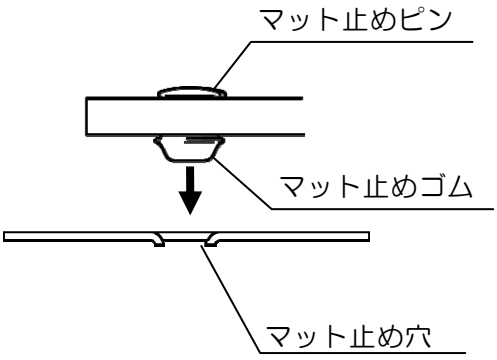
外す

1. マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込みます。



着ける

1. マットを担架カバーに乗せて、マット止めの穴とマット固定ゴムが合っていることを確認します。



2. マットの表面からマット固定ゴムを押して、穴にしっかり差し込みます。

マットのマット固定ゴムが入りにくい場合、マット裏面のマット固定ゴム、又は担架のマット止め穴を水で濡らすと入りやすくなります。

⚠注意　・マットの損傷に注意
・入浴作業前に全てのマット止めピンが確実に取り付けられていることを確認

操作方法

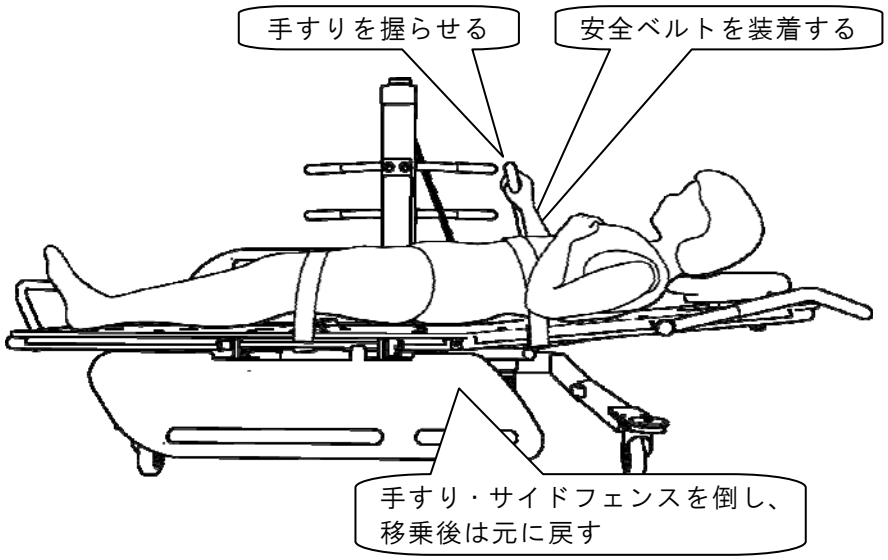
担架への移乗作業

1. 移乗は背もたれを倒した状態で行います。

2. 手すりを跳ね上げ、サイドフェンスを倒します。移乗と反対側の手すりは、起こしたままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。

3. 移乗後は、安全のため２本の安全ベルトを装着します。

4. サイドフェンス・手すりを元に戻し、肘を手すりの内側に入れます。



⚠注意　・入浴者を担架に乗せたら、手すりを握らせ肘を内側に入れる
・担架に着座するときは、担架の中央部分（脚部側）に着座する

洗髪･洗身作業

●担架上で体位変換を行う場合は、必ず介助の反対側の手すりを倒した状態で、入浴者の落下等に注意しながら作業してください。

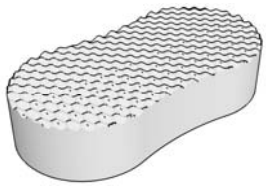
●安全ベルトを洗身作業等で外した場合は、入浴者から目を離さないでください。作業が終了したら、速やかに安全ベルトを装着してください。

⚠警告　・担架上で入浴姿勢を変えるときは、手足の指の状態に注意
・担架上での移乗・洗髪・洗身作業時は、入浴者の落下に注意

日常のお手入れ

清掃（担架、フレーム）

1. やわらかい布、または、やわらかいスポンジに浴室用洗剤を含ませ、担架、フレーム等汚れを落としてください。



推奨品：酒井医療㈱「浴槽クリーナ A」

お願い

・ストレッチャーに洗剤をかけたまま放置しないでください。
・強くこすらないでください。キズの原因になります。

> ⚠注意　**・タワシやブラシは使わない**
> **・研磨材がついたスポンジや、ネットに包まれたスポンジは使わない**

2. ストレッチャーについている泡をシャワーで十分洗い流します。

> ⚠注意　**バッテリーカバー、駆動部カバーに水をかけない**

3. 乾いた布で水滴を軽く拭き取ってください。

お願い

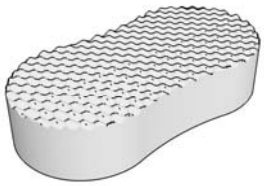
・水滴を残すと水垢などが残り、くすみの原因となります。

> ⚠注意　**・使用後は、必ず排水する**
> 水垢などが浴槽内にこびりつき、汚れが落ちにくくなります。
> **・使用後は、換気を行い室内の湿度を下げる**

日常のお手入れ

清掃（マット、ベルト）

1. 担架マット・ベルトを取り外し、やわらかい布または、やわらかいスポンジに浴室用洗剤を含ませ、汚れを落としてください。



推奨品：酒井医療㈱「浴槽クリーナ A」

お願い

・入浴介助終了後、水滴が乾いてしまうと汚れが落ちにくくなるので、入浴介助終了後すぐに清掃するのがお勧めです。

2. 担架マット、ベルトについている泡をシャワーで十分洗い流します。

> ⚠注意　担架マットは、高温により変形する恐れあり

お願い

・泡が残っているとカビが発生しやすくなります。
・お湯で洗い流した場合、最後は水で洗い流してください。

3. 担架マットは、表面に水が残らないように立てかけて、日陰干しにて乾燥させます。

お願い

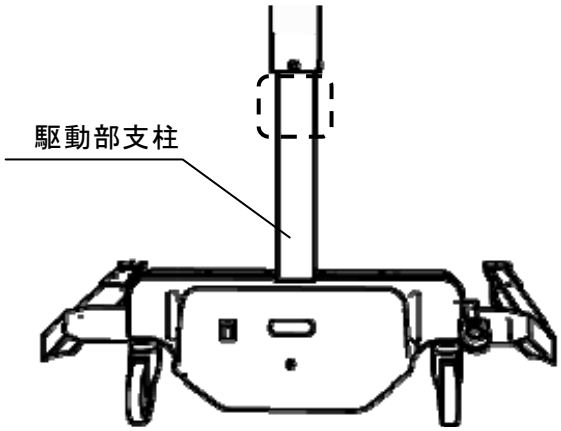
・乾燥中は浴室内の換気を行い、温度、湿度を下げてください。

> ⚠注意　担架マットは日陰干しにて乾燥

日常のお手入れ

メンテナンス

駆動部支柱(角パイプ)には、定期的に付属のシリコングリス(信越シリコン G501：付属品)を [ ] の範囲（各面）に塗布してください。
塗布の際は、担架を上限まで上昇させてください。
消耗品の補充に関しては、P.34 をお読みください。



⚠注意　当社指定のシリコングリスを使用する
他のグリスを使用すると、故障の原因になります。

このようなときは

まずは、次の内容を確認していただき、なお異常があるときは最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
昇降動作	上昇スイッチを押しても動かない	●バッテリーの容量不足 →充電を行ってください。	P.19
		●上限位置に達していませんか？ →上限位置では自動停止するため故障ではありません。	
	下降スイッチを押しても動かない	●バッテリーの容量不足 →充電を行ってください。	P.19
		●下限位置に達していませんか？ →下限位置では自動停止するため故障ではありません。	
	昇降中に変な音がする	●電動アクチュエーター又は機械的トラブル →最寄りの営業所にご連絡ください。	
枕	枕の位置調節ができない	●枕の固定用ノブを緩めましたか？ →固定用ノブを緩めてから、枕の位置を調節してください。	P.24
	枕が外せない	●枕の固定用ノブが完全に外れていますか？ →最後まで回してノブを取り外してから、枕を外してください。	P.24
サイドフェンス	サイドフェンスが倒せない	●ストッパーを引いていますか？ →ストッパーを引いてから、下肢用サイドフェンスを入浴者の足側にスライドさせ、手前に倒してください。	P.21
背もたれ	背もたれを起こした位置で固定できない	●背もたれをいっぱいまで上げていますか？ →背もたれをいっぱいまで上げてから、ゆっくり下ろしてください。	P.23
	背もたれが倒せない		

このようなときは

このようなときは		ここを確認してください	参照ページ
マット	マットが外れてしまう	●マット止めピンが穴にしっかり差し込まれていますか？ →すべてのマット止めピンを完全に差し込んでください。	P.26
		●マット固定ゴムが損傷していませんか？ →損傷している場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	

・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器について

保守・点検について

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方が P.11～12 の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保障とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも有償修理とさせていただく場合があります。
- 保証期間は 1 年です。但し本体フレームは 5 年間です。保証の規定につきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

・修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。
　機種名　　：　*ＷＴ－７３０*
　お買い上げ：　　年　月　日
　故障状況（できるだけ詳細に）
　住所、氏名、電話番号
・メーカーより指示のあるとき以外は、機器を分解しないでください。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

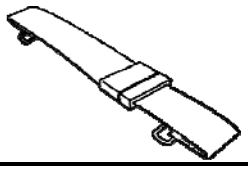
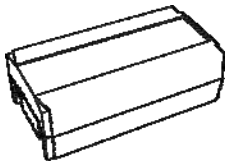
機器について

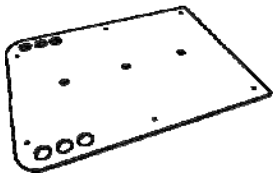
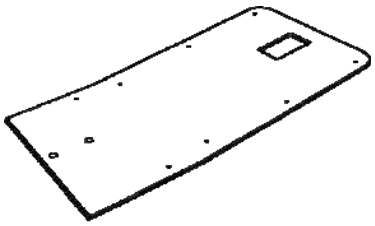
消耗品（使用により、量などが減少していくもの）　**補充は、お客様により実施願います。**

シリコングリス（当社指定品：信越シリコンG501）
駆動部支柱　塗布用

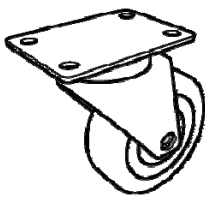
損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

ベルト	スライド式枕	バッテリー
		

マット止めゴム	マット（脚用）	マット（背中用）
		

・正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

キャスター


損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。
点検して必要により有償交換いたします。

機器について

仕様

型　　式		WT-730
外形寸法		1807(Ｌ)×1014(W)×1005～1455(Ｈ)㎜
質　　量		約 85 kg
最大搭乗質量(入浴者)		100kg
材質	フレーム(搬送部)	ステンレス
	担架面	ステンレス
	手すり	ステンレス・プラスチック(PVC)
	サイドフェンス	プラスチック(PP)
	マット	プラスチック（EVA スポンジ）
	足あて	ステンレス
駆動方式		電動アクチュエーター式：バッテリーDC24V
キャスター		前輪φ100・後輪φ125(トータルロック付)
その他		安全ベルト 2 か所
付属品		充電器、バッテリー（1 個） スナップボタン外し

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。